

※下線は更新部分

中国におけるアフリカ豚コレラ発生事例について

中国で初のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局が8月4日 OIE に、8月6日に在中国日本大使館に情報提供した内容等の概要以下のとおり。

<場所>

遼寧省（りょうねいしょう）瀋陽市（しんようし）瀋北新区（しんほくしんく）の養豚繁殖農場（383頭飼養）及び周辺農場



<経緯>

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 8月1日 | 疑い事例確認（383頭のうち47頭が死亡） |
| 8月2日午後5時 | 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査開始 |
| 8月3日午前11時 | ASF確定（遺伝子検査（リアルタイムPCR）） |

<対応>

現時点で本発生は有効にコントロールされており、新たな発生は確認されていない。中国当局は、発生農場から半径3kmの範囲を疫区に設定し、発生農場含む疫区内の全ての豚8,116頭の殺処分・消毒を完了。発生農場及び疫区における厳格な封鎖・消毒等を継続。疫区内に計8ヶ所の消毒地点、疫区内の全ての農場、出入りする車両等に対し消毒を実施中。遼寧省全域における包括的な疫学調査を実施し、既に188万頭の豚を検査し、異常豚は認められていない。

農林水産省は、既に実施している夏期休暇期間中における口蹄疫等の防疫対策の徹底に加え、今般の発生をふまえ、動物検疫所では水際対策及び一部の衛生証明書の発行停止措置を実施。また、都道府県及び関係団体等の国内関係者に関連情報及び国内対策について通知済み。